

## 2019 年度事業計画

### 公 1 腎不全対策・人工透析療法に関する調査研究，普及，教育研修事業

#### 1. 腎不全対策・透析療法に関する調査・研究事業

##### (1) 標準透析療法委員会

標準的な透析治療の質的向上に関する調査研究を行う。

- ① 透析療法に関する情報交換・共有を行うため支部長会を開催する。
- ② 透析療法の診療実態を調査し，診療向上のための対策を策定する。

##### (2) 腎不全対策委員会

CKD（慢性腎臓病）の早期発見のための社会システム作り，及び CKD に対する保存療法，透析（腹膜，血液）療法，腎移植まで広範に教育・啓発活動を行う。

##### 1) CKD（慢性腎臓病）対策部会

- ① CKD の教育，普及・啓発に向けて関係機関及び関係団体と連携・協力して活動する。
- ② 全国腎臓病協議会，透析医療研究会と協同で血液透析患者の実態調査，及びその分析研究を行う。（血液透析患者実態調査ワーキンググループ）

##### 2) 在宅血液透析部会

- ① 多様化に対応した在宅血液透析の役割とそれに伴う諸問題について検討する。
  - ・透析関連（機器・薬剤）メーカーなどとシステム構築に必要な部会を設け，患者及び医療従事者双方にとって安全かつ簡便な在宅透析システムの在り方について検討する。
  - ・在宅血液透析のデータベース構築と解析による評価について，関連学会・研究会と連携し，ワーキンググループを設けシステムを構築する。
  - ・通院困難な透析患者に対する治療の質と安全性を担保した在宅血液透析の在り方について，関連学会・研究会と連携し検討する。
- ② 「在宅血液透析管理マニュアル」（平成 22 年発行）の改訂を行う。

##### (3) 医療経済委員会

透析医療に関する経済的，経営的な調査分析を行い，透析医療制度に関する調査研究を行う。

## 1) 制度調査部会

透析医療制度に関する調査研究を行う。

- 第23回透析医療費実態調査（レセプト分析調査）を実施する。

## 2) 経営検討部会

透析関連の費用対効果分析に関して検討を行う。

- ① 2019年度透析医療機関経営・施設実態調査（2年に1回）を実施する。
- ② 2019年10月の消費税率引き上げの透析医療機関への影響を調査する。
- ③ 透析排水に関する諸問題について対応する。
- ④ 水道法の一部改正に関する問題について対応する。

## (4) 医療保険委員会

医療保険の透析療法に及ぼす影響調査を行う。

- ① 第24回透析保険審査委員懇談会を開催する。
- ② 透析保険審査委員懇談会を開催するとともに、今後の透析診療報酬の論点の検討を行う。
- ③ 「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル」（平成10年改訂）の改訂を検討する。

## (5) 介護保険委員会

平成30年版高齢社会白書によると、2017年10月1日現在、65歳以上の高齢者は27.7%と、日本は世界で最も高い高齢化率となっており、後期高齢者は13.8%になっている。透析患者においては、高齢化はさらに深刻で、2016年末時点で、透析患者の平均年齢は68.2歳、高齢化率66.2%、後期高齢者は22.0%と報告されている。要介護問題を含め、高齢者腎不全患者の抱える問題を明らかにし、高齢腎不全患者が幸せな生活を送れる医療・介護体制構築に向けて、提言を行う。

## (6) 透析医療の中長期的な在り方検討委員会（旧：透析医療に関するグランドデザイン作成検討委員会）

透析医療の現状を踏まえ、将来的に良質で効果的な透析医療提供体制の確保に向けて中長期的な将来構想等を検討する。

課題の一つとして、透析室における医師業務のタスクシフティングに関する検討を透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループで行う。

## 2. 透析療法の普及事業

### (1) 会誌編集委員会

透析療法の普及活動及び機関誌の発行を行う。

- ① 機関誌（日本透析医会雑誌）の発行
  - 年3回（4月、8月、12月）の定期的刊行
- ② 機関誌の充実
  - 透析医療経済と災害対策問題を重要課題として掲載
  - 透析医療、最新・話題の学术论文の提供、各種実態調査報告等のタイムリーな掲載
  - 病理組織、災害状況など一部図表のカラー化
- ③ 各種学術情報の提供
  - 研修セミナー、医療制度、学会・研究会案内等

- ④ その他
  - 公募研究助成論文の発表
  - 各支部での特別講演の掲載
  - 時宜に適った特集号・別冊の発行

### 3. 透析療法に関わる医療従事者の教育研修事業

#### (1) 研修委員会

透析医療従事者教育研修会の開催及び地域研修会等の支援を行う。

##### ① 研修セミナーの開催

春期（東京）及び秋期（熊本）で開催し、講演内容は全て日本透析医会雑誌へ掲載する。

- 春期研修セミナー

期日：2019年5月19日（日）

会場：ソラシティカンファレンスセンター（東京都千代田区）

- 秋期研修セミナー

期日：2019年11月3日（日）

会場：ホテル日航熊本（熊本県熊本市）

##### ② 関係学会・団体との教育研修協力

##### ③ 地域医療システム確立のための都道府県単位で開催される研修会への支援

## 公2 人工透析療法に関する研究助成事業

### 1. 公募研究助成事業

#### (1) 研究助成審査委員会

腎不全医療，特に透析医療を推進する学術研究を広く公募し，研究助成を行う。

## 公3 人工透析療法に関する安全対策事業

### 1. 災害時における国，地方公共団体等が行う腎不全医療に関する安全対策への協力事業

#### (1) 災害時透析医療対策委員会

災害時情報ネットワークシステムの拡充・運用による災害時透析医療の体制整備を図る。

- ① 厚生労働省防災業務計画に基づく災害時協力体制の整備
- ② 災害時における緊急透析医療システムの運営
- ③ 「災害時情報ネットワーク」を軸とした災害時情報共有体制の整備・運営
  - 第20回災害時情報ネットワーク会議開催及び情報伝達訓練
  - サーバーの管理
  - メーリングリストの運営
- ④ 災害時支援人材・資材派遣システムの構築
- ⑤ 透析医療災害対策マニュアルの作成を検討
- ⑥ 日本災害時透析医療協働支援チーム（JHAT）への参画，協力

## 2. 医療安全対策事業

### (1) 医療安全対策委員会

透析医療にかかわる安全対策，特に感染防止対策及び医療事故対策の充実・強化を図る。

#### 1) 感染防止対策部会

「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」（平成 27 年改訂）を改訂する。

#### 2) 医療安全対策部会

2013 年 12 月実施し，2015 年 4 月に発表（日本透析医会雑誌 Vol.30-No.1）した「透析医療事故の定義と報告制度と透析医療事故の実態に関する全国調査」を参考に，新たな透析医療事故調査を 2020 年度に行うべく，今年度は調査方法や課題を準備検討する。